

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/09/28号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



90ドルを挟んで上値の重い展開

NY原油先物相場は、1バレル=90ドルを挟んで売買が交錯する展開になった。週前半は、サウジアラビアがホルムズ海峡経由の原油輸出を強化するとの観測、攻撃を受けて停止していた東西パイプラインの稼働再開の報道を掛かりに、88.67ドルまで下落した。しかし、イエメン武装組織フーシ派がサウジアラビアの首都リヤドの「重要目標」、紅海沿岸都市ヤンブーの石油関連施設を攻撃したと伝わると、96.78ドルまで切り返している。ただし、週末にかけては米国とイランが段階的な停戦合意に向けて協議を進めていることが材料視され、92ドル台中盤まで再び軟化している。

中東情勢に一喜一憂する不安定な地合が続いている。供給リスクの評価が極めて難しく、ヘッドラインに左右されて乱高下を繰り返している。9月15日の106.75ドルで上昇が一服した感があるものの、80ドル台では押し目買いが入り、2週連続で下落したものの、週中盤には大幅に切り返すなど、不安定な値動きが続いた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（9月18日時点）は、原油が前週比297万バレル増、ガソリンが169万バレル減、石油精製品が43万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

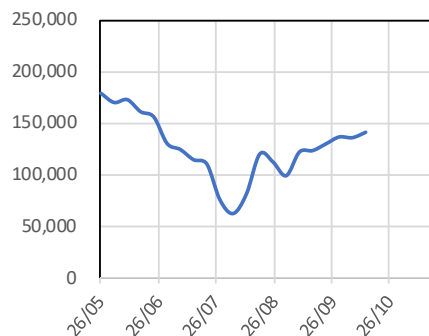
中東情勢次第で不安定、米国とイランの停戦合意期待だと軟化

中東情勢に依存する不安定な地合が続く。米国とイランの間で停戦合意が実現するとの期待感が強まると、80ドル台中盤まで軟化する可能性がある。両国の間で間接協議が複数回行われた模様であり、段階的な停戦合意が目指されていると各種メディアで報じられている。ただしトランプ米大統領は9月25日、イランが提示した7日間の停戦案を拒否し、11月の米中間選挙後にイランへの攻撃を再開する考えを側近に伝えたと報じられている。実際に合意が可能なのか、合意が実現したとして、それを維持できるのかは不透明だ。仮に協議決裂となった場合には、逆に90ドル台中盤から後半を試す可能性がある。

サウジアラビアが、原油出荷体制の強化を進めていることは、原油相場に対してネガティブ。ホルムズ海峡ではシャトル輸送を強化し、オマーン沖で大型タンカーへの積み替えを行っている模様だ。また、東西パイプラインの稼働再開を受けて、徐々に欧州向け出荷も再開される可能性が高い。サウジアラビア産原油の供給体制が強化されると、原油相場は徐々に90ドル割れ定着を試す展開になろう。

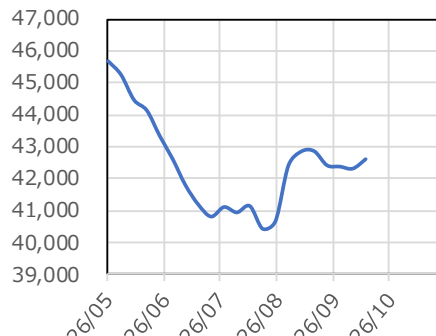
ただし、イエメン武装組織フーシ派の活動は引き続き活発であり、突発的な供給障害が発生するリスクも低くない。改めてサウジアラビアの東西パイプラインの稼働停止、石油関連施設に大規模な損害が発生、タンカーに対する攻撃といった動きが報告されると、供給不安の織り込みが原油相場を大きく押し上げる可能性も残されている。徐々に値位置は切り下がる傾向にあるが、上下双方への大きな振れ幅を想定しておく必要がある。前週と同様に、中東情勢関連のヘッドラインに振り回される展開が続く見通し。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



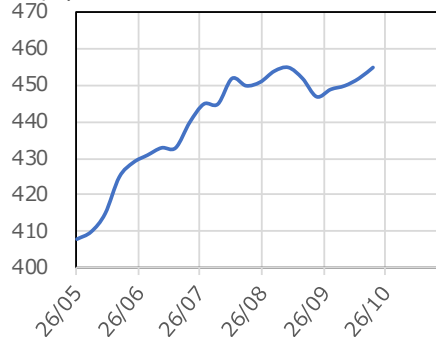
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで